

業界初の「ユニットバスルーム」 誕生60周年

～浴室の進化をけん引し続け、累計出荷台数 1200万台突破～

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)が開発した「ユニットバスルーム^{※1}」は、2024年9月1日に誕生60周年を迎えます。

1964年の東京オリンピック開催にあたり、日本初の超高層ホテル「ホテルニューオータニ」で短期間に大量の浴室を納入するために、1963年に業界初の「ユニットバスルーム工法」を開発しました。

- ①短納期:工期を在来工法の10分の1に短縮し、ホテルニューオータニの全客室の内の1044室を3.5カ月で組立てました。
- ②防水性:ステンレス製防水パンの採用により、従来の浴室の防水工事を不要にしました。
- ③軽量化:1958年に発売した浴槽「トートライトバス」で培ったFRP(繊維強化プラスチック)技術をカウンターなどにも採用し、浴室の軽量化を図りました。

1966年には、マンションやアパートなどの集合住宅用ユニットバスルームを発売し、1977年には、戸建用のユニットバスルームを発売しました。その後、マンションの取換え需要を見据えたマンションリモデルバスルームを発売、業界初の「カラリ床^{※2}」や「魔法びん浴槽^{※2}」など、お客様の生活価値を向上させた商品を発売し続け、浴室の進化をけん引してきました。1964年9月の誕生以来、着実に販売台数を伸ばし、2024年2月に「ユニットバスルーム」の累計出荷台数が1200万台を突破しました。現在では日本におけるおよそ9割^{※3}がユニットバスルーム工法によるもので、日本の浴室のスタンダードとなりました。

また、近年は単に「体を洗う場所」から「くつろぎの場」へ進化し、最新のユニットバスルームでは、人間工学を応用した浴槽形状で身も心もリラックスする「ファーストクラス浴槽」や肩・腰をたっぷりのお湯で温める「楽湯」など機能を追加。さらにスマートフォンから専用アプリの操作で、いつでもどこでも入浴準備ができる「つながる快適セット」など、常にお客様の使い勝手と心地よさの追求を行っています。

TOTOは、今後も水まわりの総合メーカーとして、さらなる快適性を追求し進化させていきます。



※1ユニットバスルームは、JIS規格に適合したものの。
※2「カラリ床」「魔法びん浴槽」はTOTO(株)の登録商標です。
※3キッチン・バス工業会2022年度自主出荷統計より。

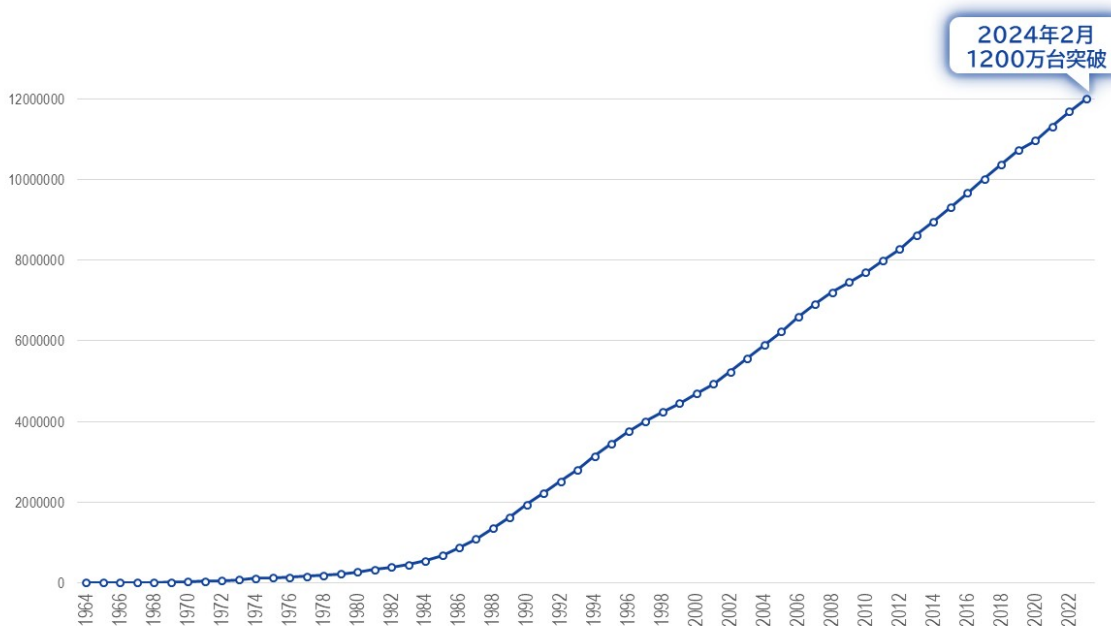
1964年9月
ホテルニューオータニに納入した
「ユニットバスルーム」

上記写真の高解像度データは、下記URLの当該ニュースリリースよりダウンロードいただけます。
<https://jp.toto.com/company/press/>

■TOTOのユニットバスルームの主な変遷



■TOTOユニットバスルームの累積出荷台数



■TOTOユニットバスルームに関する主な受賞歴

受賞年	賞	対象商品
2005年	全国発明表彰 特別賞	カラリ床
2004年	省エネ大賞 経済産業大臣賞	フローピア魔法びん浴槽 KQ シリーズ
2012年	エコプロダクツ大賞 優秀賞	エアインシャワー
2012年	省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞	エアインシャワー (TMNW40EC、TMGG40E 他 全48機種)
2017年	第11回キッズデザイン賞	ラクかるふろふた
2023年	令和5年度全国発明表彰 発明賞	お掃除ラクラク鏡

TOTOミュージアム企画展

「快適な暮らしを追求するユニットバスルーム展～誕生60年の軌跡～」開催

「TOTOミュージアム」の特別展示室にて、2024年3月19日(火)よりユニットバスルーム誕生から60年の軌跡を紹介する企画展を開催します。初代ユニットバスルームの1/5サイズの模型や組み立て方の解説動画、快適性を追求し進化してきた商品の変遷などをご覧ください。



初代ユニットバスルームの模型

企画展名 ————— 「快適な暮らしを追求するユニットバスルーム展 ～誕生60年の軌跡～」

会期 ————— 2024年3月19日(火)～11月上旬予定

会場 ————— TOTOミュージアム 特別展示室内

所在地 ————— 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1

詳細はTOTOミュージアムウェブサイトをご覧ください

[URL] <https://jp.toto.com/knowledge/visit/museum/>



TOTOミュージアム

新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれい快適



環境



人とのつながり



「環境・社会的価値」と「経済価値」を同時に実現する新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030では、「きれい快適」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」として経営とCSRの一体化に取り組み、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>